

御殿場市内でナラ枯れ被害が拡大中！

ナラ枯れとは・・・カシノナガキクイムシがナラ類の樹木内部に住み着き、そこでカビの一種である「ナラ菌」を媒介し、樹木を枯らしてしまう病気です。2008年に県内で初めて被害が確認され、その後徐々に県内全域に広まりました。御殿場市・小山町においても昨年度から被害が出始め、今年度に入り市内全域で発生しています。

こんな枯れた木はナラ枯れが原因かも・・・？

- 1 7～9月に葉が紅葉し枯れる
- 2 幹に約1ミリ程度の孔がみられる
- 3 根本に木くず（フラス）が堆積している



カシノナガキクイムシが侵入した樹木

1.なぜ木が枯れてしまうのか

カシノナガキクイムシという虫がナラ類等の樹木内部に侵入し、繁殖します。そこで虫に媒介されるナラ菌の作用により樹木が水分等を吸い上げる機能を失い、枯死します。



ナラ枯れにより枯死し、変色した樹木（赤枠部分）

2.カシノナガキクイムシとは

体長5ミリ程度の小さな黒褐色の甲虫です。集団で樹木内部に侵入し、そこで産卵します。やがて孵化した多数の幼虫が、樹木内に孔道を掘るようになると大量の木くずが排出されるようになります。6～9月ごろに成虫となり、新たな樹木を求め集団で移動し、ナラ枯れを広めます。



カシノナガキクイムシ。この虫が樹木内部に侵入し、ナラ菌を媒介する。

3.どんな木が被害にあうか

樹木の中でもナラ類、シイ類、カシ類、特に幹の太い大径木が被害にあいます。その他の動植物には影響はありません。ナラ枯れ被害は、3～5年程度で終息するといわれています。

4.ナラ枯れしている木を見つけたら

原則として、対策は森林所有者の責任でやっていただく必要があります。

ナラ枯れの被害を食い止めるためには、カシノナガキクイムシの駆除等を行い、個体密度を少しでも下げることが重要です。ナラ枯れの場合、薬剤の空中散布等の面的な手法が確立されていないため、被害木一本一本に対策が必要となります。

駆除手法としては

- 被害木を伐採し、伐採後はくん蒸処理及び破碎処理を行い、樹木内の虫を駆除する。
- 被害木に直接ドリル等で穴を明け、農薬を注入する。

などの手法があります。駆除は造園業者等の専門業者に相談し、経費等との兼ね合いをみて対策を進めてください。また、被害木を伐採しても中のカシノナガキクイムシは死なないため、被害木の移動は新たな被害地を生む可能性があります。このため、被害木の移動には十分ご注意ください。

特に倒木によって、民家や公道などに影響が出る恐れのある被害木を見つけた場合は、伐採するなどの対策を早めに進めてください。

被害は3年から5年程度で終息します。その間に駆除等を行い、カシノナガキクイムシの個体数を減らし、被害拡大の防止に努めてください。

お問い合わせ先

【御殿場市産業スポーツ部農林整備課】

〒412-8601 静岡県御殿場市萩原 483 番地

TEL：82-4629

FAX：82-4181